

寅さん歩 その 24

半径 30 分以内－22

本郷通り（北区・豊島区境）



平野 武宏

「寅さん歩 半径 30 分以内」は 2020 年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の中での新テーマです。八柳修之さんの「STAY HOME 半径 500m 以内」からヒントをいただき、自宅から 30 分以内で歩いて行けるマイお散歩コースです。本郷通りの J R 駒込駅は豊島区ですが、本郷通りを旧古河庭園方面に坂を下ると北区に入ります。今回は北区西ヶ原と豊島区駒込・巢鴨の区境のお散歩です。寅さん歩の第 1 作は「豊島区境を歩く」でした。寅次郎が 2012 年（平成 24 年）8 月に移住した豊島区は 6 つの区（文京区・北区・板橋区・練馬区・中野区・新宿区）と境を接していると知り、3 日かけて区境を歩いた記録でした。写真右上は北区「霜降銀座商店街」と豊島区「染井銀座商店街」が区境になる地点です。手前が北区で先が豊島区です。最寄駅は交通機関を利用の場合の代表例です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔妙義神社〕 豊島区駒込 3-16-16 最寄駅 J R 駒込駅

J R 駒込駅前から本郷通りを横断し右折し、旧古河庭園方面へ妙義坂を下ると、妙義神社入り口の表示があります。以前にも訪問しましたが鳥居（写真下左）も社殿（写真下右）もすっかりきれいになり見違えました。まだ工事をしているので工事看板を見ると「妙義神社境内整備第Ⅱ期（共同住宅）」と記載。境内に 9 階建ての共同住宅が建つようです。さらに景色が変わりますね。





日本武尊が東征の際にこの地に陣営を敷き、後の651年（白雉2年）に社を創建したとのことで豊島区最古の神社と称しています。

主祭神は日本武尊で太田道灌が合戦のたびに戦勝祈願を行い、成就したことから「勝負の神様」、「戦勝の宮」と呼ばれ、戦前は軍人の参拝者が多かったとのことです。

写真左は境内に鎮座の太田道灌の

霊社と江戸時代の1642年（寛永19年）に境内に建立され稲荷として祀られた庚申塔がありました。神社復興工事で地中より発掘されたとのこと。

本郷通りに戻り、妙義坂を下ると途中から北区に入り、左側に「霜降銀座商店街」入り口があります。

〔霜降銀座商店街〕 北区西ヶ原1丁目

写真下左が本郷通り側の入り口です。1931年（昭和6年）谷田川の暗渠工事が始まり、1940年（昭和15年）頃から商店が集まり始め、1956年（昭和31年）「霜降銀座商店街」としてスタートしました。下町情緒の濃い商店街です。

食料品、生活日用品、ファッション、小物、健康、美容、医療、食事処、喫茶など、ここですべてがまかなうことができる商店街です。寅次郎、初めて訪れた時に肉屋さんで揚げたてのビーフコロッケを美味しくいただきました。写真下右は商店街の終点近くですが、早朝のため店は閉まり、人通りもありません。



[染井銀座商店街] 豊島区駒込6丁目

アーケードの形が変わると豊島区に入り「染井銀座商店街」になります。写真下左は染井銀座商店街の入り口で、下の道に「霜降銀座商店街」と区別するため「染井銀座商店街」と表示がありました。駒込のこの地は昔、染井村と呼ばれ、ソメイヨシノ発祥の地です。写真下左の左側の坂を上ると染井村の中心部や染井霊園があります。寅次郎の散歩道は染井霊園からここに下りて来ます。写真下右は「染井銀座商店街」の終点です。



至る所に商店街のマップ（写真右 65 店）が掲示されていました。霜降銀座商店街と同様にここで生活上のほとんどの買い物が済ませられます。雰囲気は霜降銀座とは下町感が少し違う昭和の商店街だと感じました。

寅さん歩 123 江戸・東京の祭-49（新しい祭-10）をご覧ください。「霜降銀座」と「染井銀座」も舞台になるミステリーウォークイベントです。北区に住む作家 内田康夫の小説の主人公 名探偵 浅見光彦になって事件を解決します。毎年開催される北区後援のイベントですが、隣接の豊島区も協力しています。寅次郎も4年連続で参加しました。染井銀座商店街が終わると、また北区に入ります。



〔西ヶ原みんなの公園〕 北区西ヶ原 4-51-62

最寄駅 都電荒川線 西ヶ原 4 丁目停留場

2000 年東京外国語大学の跡地に整備された芝生広場を主にした防災設備を備えた公園（写真下左）です。奥には老人ホームやマンション（写真下右）もあります。東京外国語大学は前身の東京外事専門学校時代の 1944 年に当時の麴町区（現在の千代田区）から引っ越してきました。1949 年に新制大学になり、2000 年に府中市へ移りました。早朝には多くの方が芝生の周りを歩いていました。



西ヶ原みんなの公園は北区ですが、豊島区の区境にあり前の道を入ると豊島区の染井霊園です。寅さん歩 322 半径 30 分以内—2 染井霊園をご覧ください。寄り道で染井霊園の周りにお寺を紹介しましたが、今回は区境の寺として取り上げました。

〔勝林寺〕 豊島区駒込 7-4-14 最寄駅 JR 巣鴨駅

西ヶ原みんなの公園前の道が区境です。公園入り口前から小道を入り進むと勝林寺（写真下左右）があります。1615 年（元和元年）創建の臨済宗妙心派の寺院です。元々は現在の文京区湯島聖堂辺りにあり、1657 年の明暦の大火で文京区向丘に移転。江戸時代の檀家には大名や旗本がおり、檀家の老中 田沼意次は勝林寺拡張整備を行い「中興開祖」と呼ばれ墓があります。



道路拡張工事により 1908 年（明治 41 年）墓のみを、1941 年（昭和 16 年）寺を現在地に移転しました。

〔慈眼寺〕 豊島区巢鴨 5-35-33 最寄駅 JR 巢鴨駅

勝林寺の右側にある墓地脇を行くと慈眼寺があります。日蓮宗の寺院で、写真下左は寺入り口、写真下右は突き当りの正門と左側にある墓地の入り口です。創建は安土桃山～江戸時代初期とのこと。現在の江東区新大橋や猿江にありましたが水害で壊滅的被害を受け、1912 年（明治 45 年）谷中の妙心寺と合併して現在地に移転したとのこと。



墓地入り口の説明板には「司馬江漢（しばこうかん：江戸時代の絵師、蘭学者。日本最初の腐蝕銅版画を制作。青年時代は浮世絵師 鈴木晴信の門下で鈴木春重を名乗った）、斉藤鶴磯（さいとうかつき：江戸時代後期の儒学者、地誌研究者として各地を歩いて考証を重ね名著 武蔵野話を刊行）小林平八郎（忠臣蔵吉良邸討ち入りで赤穂浪士と戦った吉良方の侍）、芥川龍之介（大正期の代表的小説家）の墓がある」と記載。

〔本妙寺〕 豊島区巢鴨 5-35-6 最寄駅 JR 巢鴨駅

慈眼寺の山門と墓地の間の小道を行き、右折すると本妙寺があります。1571 年（元亀 2 年）創建の法華宗陣門流の東京別院です。駿府から 1590 年（天正 18 年）江戸城清水御門内に移転。その後、移転を繰り返す。1636 年（寛永 13 年）本郷丸山に移転。1657 年（明暦 3 年）明暦の大火で被災。大火の火元とか、近くの老中 阿部屋敷の火元説を肩代わりしたとかの諸説ありますが、真相は不明です。いずれにしてもお咎めはなく、1908 年（明治 41 年）現在地に移転しました。写真下左は山門、写真下右は本堂です。著名人の墓が多く、山門前の左側には名奉行の遠山の金さんこと遠山影元の墓の説明板がありました。

山門を入ると右側に境内図があり、遠山影元の他、剣豪の千葉周作、江戸時代末期の将棋指しで世襲制のため名人になれなかった天野宗歩、本因坊歴代の墓などがあります。本堂の右脇には明暦の大火供養塔がありました。



写真下左は明暦の大火の供養塔、写真下右は遠山金四郎の墓です。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。「甲州街道44宿」を歩き終えた寅次郎、今度は「弥次さん、喜多さんと伊勢参り」のバーチャルウォークです。

「一生に一度はお伊勢参り」のうたい文句で2005年1月29日～2月1日開催の「第1回熱田・伊勢125キロで初詣ウォーク」に参加して愛知県熱田神宮から伊勢神宮まで歩きましたが、今回は日本橋から東海道五十三次を歩いて四日市日永の追分から伊勢街道に入る二度目のお伊勢参りです。

2021年9月27日日本橋を出立、10月2日、保土ヶ谷宿（日本橋から32km）に到着しました。

緊急事態宣言は2021年10月1日から解除されましたが、新型コロナウイルス

感染拡大の収束にはまだ時間がかかりそうです。例会も再開されますが、毎日の運動不足対策にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

毎日の歩いた距離をコースシート上のマスの色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。今回の伊勢参りのコースシートは弥次さん、喜多さんの道中ばなし付きです。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝